

大田区自立支援協議会 相談支援部会要旨

文責：七尾（障がい者総合サポートセンター一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 相談支援部会（第8回）			
(2) 開催日時	平成28年12月14日（水）9:30～12:00			
(3) 開催場所	大田区立障がい者総合サポートセンター 5階多目的室			
(4) 出席した委員、事務局	委員（部会長：森山委員）			
	志村 陽子	古怒田 幸子	森下 繁	岡田 純子
	平井 有希子	鈴木 啓太	茂野 俊哉	田中 隆博
	今崎 牧生	内海 玄宗	小嶋 愛斗	大窪 恒
	中越 祐一			
	<p>区職員出席者</p> <p>大谷係長（大森地域福祉課） 高木係長（調布地域福祉課）</p> <p>高庭係長（蒲田地域福祉課） 七尾係長（糀谷・羽田地域福祉課）</p> <p>鈴木係長（大森地域健康課） 梅實係長（調布地域健康課）</p> <p>井上係長（上池台障害者福祉会館）</p> <p>関係者</p> <p>林 倫子（障がい者総合サポートセンター相談支援部門）</p>			
<p>事務局出席者</p> <p>障がい者総合サポートセンター：江波戸係長、星、齋藤（愛）</p>				
(5) 内容・要旨	<p>※1、2は省略</p> <p>3. 確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前回の議事録、意見出しカードの内容確認 ○ 全体討議会（12/5）の報告 <ul style="list-style-type: none"> ・第2回障がい者施策推進会議（11/7）について、議事録は大田区HP掲載 ・各部会の動き、どんなことをやっているか ・障がい者差別解消支援地域協議会の立ち上げ ○ 個別支援会議報告（振り返り） <ul style="list-style-type: none"> ・本人ニーズを見極め ⇒ アセスメントが大事 ・アセスメント不足では支援の方向性が不明確となり、適切な個別支援計画が立てられない ・検討事例では医療と連携した支援が重要ではないかと感じた ○ 協議会だより編集会議（11/28）の報告 <ul style="list-style-type: none"> ・次号（13号）では部会スローガンと構成メンバーの紹介を予定 ○ 事務局から <ul style="list-style-type: none"> ・12/22勉強会「医療的ケアの必要な方の地域生活について～ALSの方の介護からみえてきたこと～」がさぽーとぴあで開催される。 <p>4. 議題「おおた障がい施策推進プラン」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 相談支援体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業者の数が少なく、計画の作成依頼を受けてもキャパシティーが無くてお断りしなければならない現実がある 			

- ・一方、相談支援員研修の修了者が居ても、報酬など経営的な問題で計画相談事業所としての開業まで結び付かないことも多い
- ・自立支援協議会の活性化に関して、年度でメンバーが変わるため議論が進まない面があるのではないか
- 差別の解消及び権利擁護の推進
 - ・障がい者差別解消支援地域協議会のメンバーとして「障がい当事者」を参加させることを明記すべきではないか
 - ・権利擁護としての意思決定支援がこれから重要になってくる
 - ・「合理的配慮」推進に取り組む所管として障害福祉課の記載だけで良いか
- 障害福祉サービスの実施状況
 - ・重度障害者等包括支援を除く訪問系サービスの【今後の取組み】が同じ記載内容で抽象的、取組み内容をもっと具体的に記載できないものか
 - ・重度障害者等包括支援の利用実績が無いのはなぜか？ ⇒ 申請相談がなく、実際にサービス提供可能な事業者も区内にはない（都内で7か所）
 - ・相談支援事業者が増加しているにもかかわらず、需要に対して十分な数でないとの記述があるがなぜか、その理由についての踏み込みが足りない
- 5. その他（委員及び関係機関からの情報提供）
 - おおたTSネット第9回が 12/15（木）に18時から「さぼーとぴあ3F 集会室」で開催されます
- 6. 次回開催日程
 - 自立支援協議会 第9回
平成29年1月11日（水）9時30分から12時
さぼーとぴあ 5F多目的室